

# 平成28年度歯科診療情報の 標準化に関する実証事業のまとめ

歯科診療情報の標準化に関する検討会(第11回)

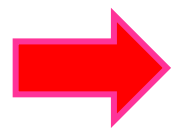
日時:平成29年3月15日(水)15:00

場所:厚生労働省(中央合同庁舎第5号館)

公益社団法人 日本歯科医師会

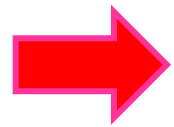
# 平成28年度実証事業の課題

## ① 歯科診療情報のデジタル出力（標準化）



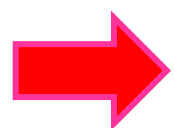
電子カルテ等から統一された基準に準じた歯科診療情報をデジタルデータとして出力する。

## ② 歯科診療情報の保存



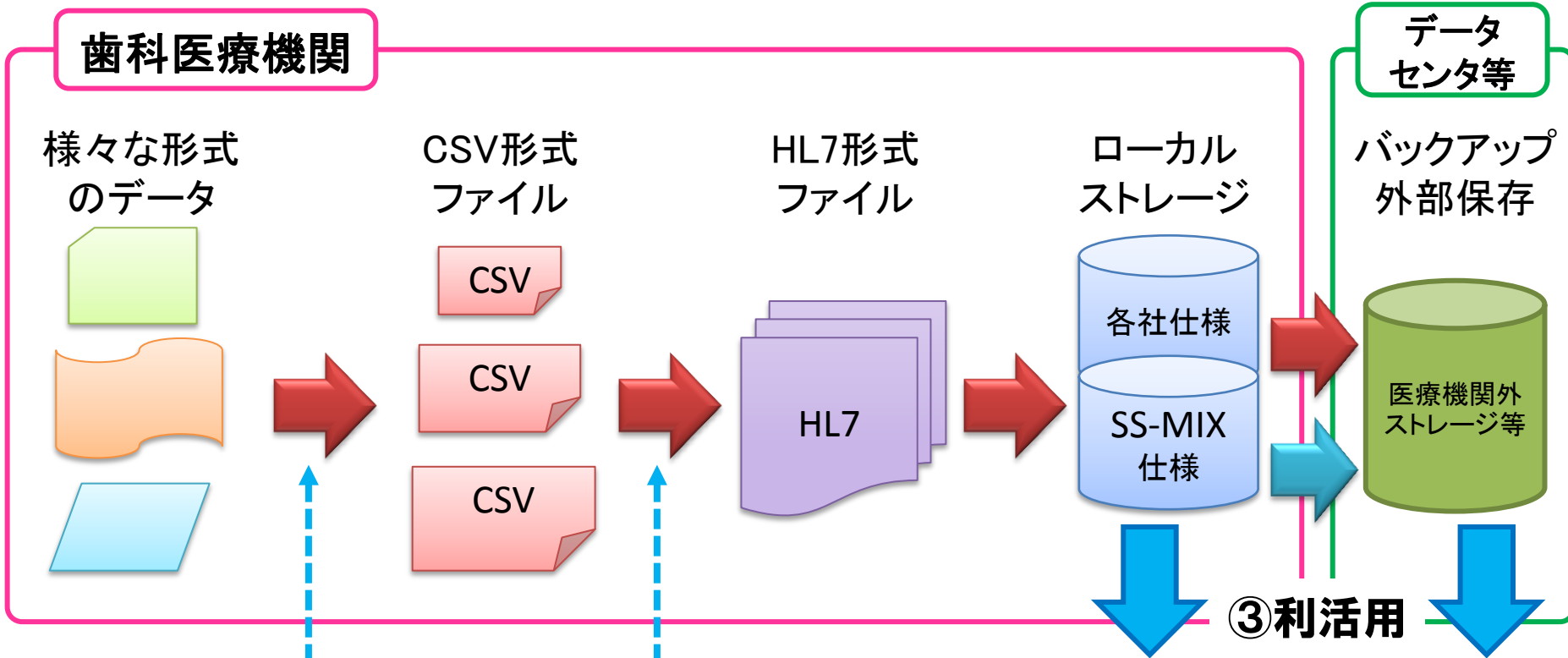
災害等で歯科医療機関が損壊した際に、歯科診療情報の保全を図る。

## ③ 歯科診療情報の利活用



身元確認を筆頭に、歯科診療情報の利活用方法を検討する。

# 平成28年度実証事業の概要



**【出力プログラム】**  
「口腔診査情報コード仕様」を基にデータを変換する。出力はCSVファイル、統一コード。

**【コンバータ】**  
「CSV形式ファイル」を「HL7形式ファイル」に変換する。SS-MIXに対応可能。

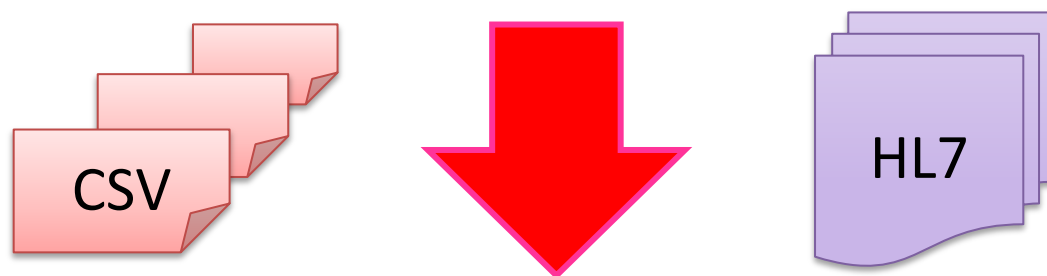
**【データの利活用検討】**

- ・身元確認・検索
- ・医療情報データベース
- ・医療連携等のネットワーク活用
- ・医療情報の一元化

# ① 歯科診療情報のデジタル出力(標準化)

## 成果

- 「口腔診査情報コード仕様」及びそれに基づいたCSV出力プログラム
- 「口腔診査情報CSV形式データからHL7への変換仕様」及びそれに基づいたコンバータ



これらにより電子カルテ等に保存されている歯科診療情報をHL7形式に変換することが可能となった。

# ① 歯科診療情報のデジタル出力(標準化)

## 課題

- 「口腔診査情報コード仕様」の修正とそれに伴うCSV出力プログラム及びコンバータの修正
  - ★ CSV出力プログラムの開発に際し、仕様の問題点が明らかとなり、細部の修正が必要
- 「口腔診査情報コード仕様」に基づいたCSV出力プログラム開発に携わっていないベンダーからの要望
  - ★ ベンダーにより電子カルテ等の表示形式や対応可能な範囲が異なる

## ② 歯科診療情報の保存

### 保存方法

- HL7形式のファイルをSS-MIXのフォルダ構造に準じてローカルストレージ(医療機関内HD等)に保存する。
- ローカルストレージ内のデータを歯科医療機関外ストレージ(データセンタ等)に保存する。



## ② 歯科診療情報の保存

### 課題

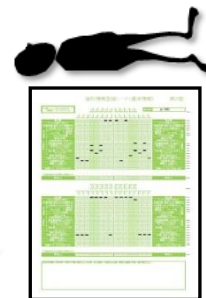
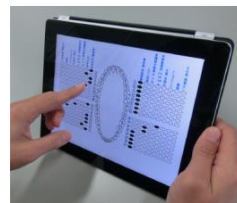
- 歯科診療情報管理者が災害等により行方不明もしくは死亡した際の対応（歯科診療情報の所有権）
- 大規模災害時に備え、一定の機関（国、地方公共団体）等が歯科情報を保存し、身元検索に使用できる仕組みの構築（法的整備含む）



# ③ 歯科診療情報の利活用

## 身元確認

- 従来と同様、警察からの照会に対し、歯科医療機関が個別にて対応を行う。
- 歯科診療情報の標準化（生前及び死後）を普及させることにより、身元確認作業の効率化・迅速化を図る。





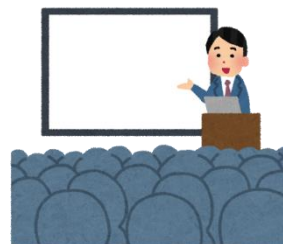
### ③ 歯科診療情報の利活用

課題（身元確認に係る利活用）

- 身元不明者の生前歯科診療情報が入手困難な際の対応
- 国民や医療従事者への理解及び周知

課題（身元確認を含め、それ以外の利活用）

- 国民や医療従事者にとって必要とされる歯科情報の利活用方法
- 個人情報の取り扱い



# 次期事業への主な課題

- 厚生労働省標準規格取得に向け「口腔診査情報コード仕様」を完成させること
- 身元確認作業を効率化・迅速化するための法的問題を含めた体制を整備すること
- 事業に対する国民及び医療従事者への理解及び周知を図ること

